

流山おおたかの森駅前センター地区 まちなみづくり指針 概要版

まちなみづくり指針とは？

■ センター地区の魅力を高めるための考え方・方策を示したものです

流山市はセンター地区において、「都心に一番近い森のまち」としてのまちなみづくりを推進することで、まちの魅力や価値を高め、市民の方々が誇りや愛着を持てるまち、市外の方々や企業などから選ばれるまちを目指しています。

まちなみづくりの推進には、流山市と地権者が共通の視点を持って取り組むことが重要です。

「まちなみづくり指針」は、街の魅力を高めるための基本的なまちなみづくりの考え方と具体的なまちなみづくりの方策を指針として示したものです。

まちなみづくり指針の対象範囲

- ・流山おおたかの森駅前センター地区
（約30ha）を対象とします。

流山おおたかの森駅前
センター地区（約30ha）



まちなみづくり指針の構成

1. まちなみづくり指針について
2. 空間形成の考え方
 - ① 流山おおたかの森駅前^{駅前}の空間形成
 - ② 楽しく快適に回遊できる沿道^{沿道}の空間形成
 - ③ 「森のまち」を感じる緑^緑の空間形成
3. まちのイメージスケッチ



■ センター地区における空間形成の考え方

流山おおたかの森駅前の空間形成

【空間形成の基本方針】

- ・交通結節点としての特徴を活かした駅前空間をつくります。⇒ 基本方針 1
- ・各方面の駅前空間の現況・周辺の特徴を踏まえて計画します。⇒ 基本方針 2
- ・公共的な空間と敷地内の計画が相互に連携し、一体的な空間を形成します。⇒ 基本方針 3

基本方針 1

まちの玄関口の空間をつくる

- ・流山おおたかの森駅はつくばエクスプレス（以下、TX）と東武野田線の2路線の交通結節点です。
- ・訪れた人々の印象に残るような駅前空間の形成を図ります。



基本方針 2

駅周辺の特徴を踏まえた空間形成

- ・駅自由通路を中心として、駅周辺の環境や既存の施設や計画を踏まえて駅前空間の形成を図ります。

【各駅前空間の特徴】

- ・南口：シンボルペデ（都市広場）や流山おおたかの森S・Cが完成している。
- ・西口：後背に緑豊かな市野谷の森が残されている。
- ・北口：駅前広場と市有地（約1ha）の活用を検討中。
- ・東口：駅前広場が完成し、小学校から移植された桜で彩られている。



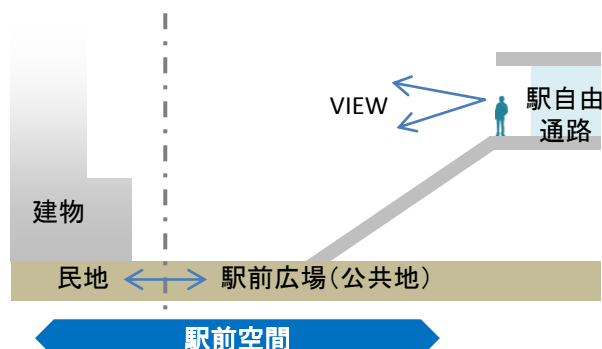
基本方針 3

駅前広場と連携した空間形成

- ・駅前空間は主に駅前広場と広場に面する敷地内の計画（外構＋建物）によって構成されます。
- ・相互に連携して計画することにより、魅力的な駅前空間が形成されます。

【空間形成方針】

- ・駅前広場と建物低層部の一体的な利用を促進します。
- ・駅前広場と調和した外構・建物デザインとします。
- ・広場に面する建物同士で統一感のあるデザインとします。



楽しく快適に回遊できる沿道の空間形成

【空間形成の基本方針】

- ・幅員や周辺との関係など、通りの持つ様々な性格を踏まえ、**通り毎に個性ある沿道空間**をつくります。
⇒ 基本方針 1
- ・道路の整備主体である**公共**と建築物の整備主体である**民間**が**連携**して一体的な空間をつくります。
⇒ 基本方針 2

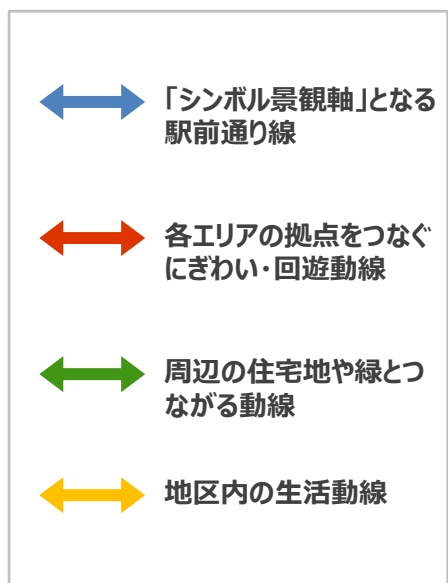
基本方針 1

通り毎に個性ある沿道空間をつくる

- ・街路樹やオープンカフェのある大通り、静かな環境の中に店舗が点在する裏通りなど、まちの中に雰囲気の違いがある様々な通りがあることで、まちを歩くのが楽しくなり、まちに回遊性が生まれます。

●通りの性格づけ

- ・通り毎の幅員の違いや役割の違いなどを踏まえ、通りの性格づけを行います。
- ・複数の性格を持つ通りでは、それぞれの性格が上手く生かされるように配慮します。



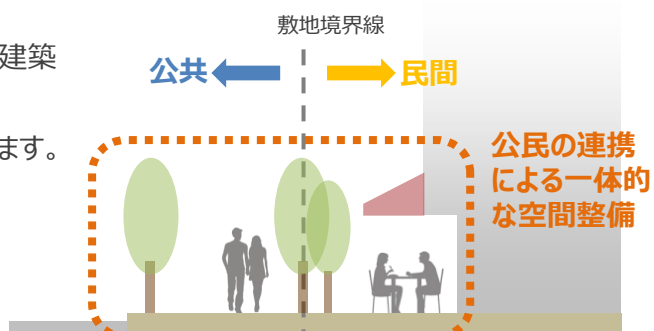
基本方針 2

公民が連携して一体的な空間をつくる

- ・沿道のまちなみは、主に公共の整備する道路と、民間の整備する建築物によって構成されています。
- ・公共と民間が連携し、敷地境界を越えた一体的な整備を目指します。

【公民境界を越えた一体的な整備の例】

- ・敷地境界をまたぐツリーサークルの設置
- ・歩道部分の舗装の統一 など



「森のまち」を感じる緑の空間形成

【空間形成の基本方針】

- ・センター地区を訪れた人が「森」とのつながりを感じられるよう、市野谷の森をはじめとした周辺の豊かな緑とつながる緑のネットワークの考え方を示します。⇒ 基本方針 1
- ・「森のまち」らしい特徴ある空間を演出するため、地区計画で定められた壁面後退部分の植栽のあり方を示します。⇒ 基本方針 2

基本方針 1

「森」の緑を「まち」に引き込む

市野谷の森をはじめとしたセンター地区周辺の「森」の緑を、地区内の「まち」のにぎわいの回遊動線に連続、交差させ、「森のまち」を体感できる空間を創出します。

森のプロムナード

西口・南口エリアの主要な歩行者動線。森のダイナミックなみどりをイメージさせる通りとします。

森のかいまい小道

小規模な空間にあわせた親密なみどりの小道を散策する楽しさを演出します。

森のつつじ小道

周辺の住宅地へとつながる直線の道路沿いに、森に自生するつつじをイメージした空間が続く通りとします。



基本方針 2

街路を「森」の一部とみるー「ソデモリ」による壁面後退部分の工夫ー

建築物の壁面後退部分の植栽帯の設えとして、森の林縁部にならった「ソデモリ」という考え方を提案します。

①森を感じさせる樹種を使う

樹種の選定に当たっては、地域性のある樹種を用いましょう。

②様々な高さ・種類を組み合わせる

様々な種類、高さの樹木を混ぜて使いましょう。整形な刈り込みを行わず、出来るだけ自然樹形としましょう。



中高木

シラカシ
アオダモ

低木

ムラサキシキブ
ヤマツツジ
アセビ
ヤブコウジ
など

通り毎の空間形成の考え方（A・B工区 照明、舗装について）

照明

■方針（対象：民地内の全ての照明）

- ・照明の色温度を暖色系に統一し、魅力的で落ち着いた夜の夜間景観を演出する。
- ・照明器具本体の色を揃え、日中でも統一感の感じられる沿道空間とする。

魅力的な夜間景観（南口駅前）



■配慮事項（対象：低位置照明）

項目	配慮事項
色温度	・ 3500～3000K程度の暖色系のものを使用する。
照明器具の形態	・ 照明器具本体の色は、植栽との調和や、過度に目立たせないことを考慮し、<u>濃い茶系</u>のものを基本とする。 【マンセル値の例】 色相：R〔赤〕-YR〔橙〕-Y〔黄〕、彩度：6以下、明度：3以下 ・ ちぐはぐな印象を与えないよう、使用する照明器具の形態・高さを統一する。
照明器具の設置位置	・ 照明器具の設置間隔を揃え、リズム感のある景観を演出する。 ・ コーナー部にシンボルツリーを配置する場合には、シンボルツリーのライトアップを検討する。

■対象とする照明

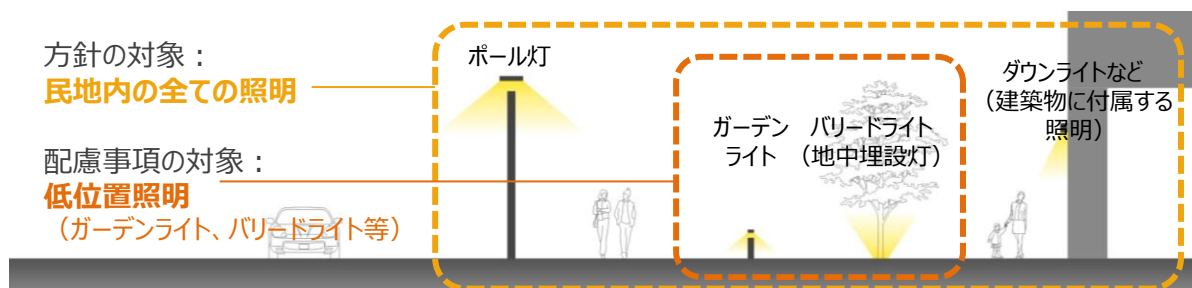
方針の対象：

民地内の全ての照明

配慮事項の対象：

低位置照明

（ガーデンライト、バードライト等）



■ガーデンライトのイメージ



色温度：
3000～3500K程度

照明器具本体の色：
色相：R〔赤〕-YR〔橙〕-Y〔黄〕
彩度：6以下
明度：3以下

ガーデンライト（A工区）



通り毎の空間形成の考え方（A・B工区 照明、舗装について）

舗装

■方針

- ・民地内に歩行者の通行・滞留スペースを創出し、道路空間と一体で、歩いて楽しい沿道空間を創出する。
- ・舗装材の色を揃え、統一感の感じられる沿道空間とする。

■配慮事項

項目	配慮事項
舗装材	・舗装材の色は、植栽との調和や、過度に目立たせないことを考慮し、アースカラーなどの落ち着いた色調のものとする。
舗装箇所	・人が滞留しやすいコーナー部の舗装を工夫する。 ・道路空間（公共）との間に段差が生じないように配慮する。 ・駐車場出入り口など、歩行者空間の連続性が分断される箇所についても、見切り材の工夫などにより、連続性を途切れさせないように配慮する。 ・必要に応じ、公民境界を越えた歩道部分との一体的な整備を検討する。

公民境界を越えた一体的な舗装の例（B52街区）



公民境界を越えたツリーサークルの設置例（東口駅前）



コーナー部
（主要交差点）



コーナー部
（その他の交差点）



「ソデモリ」の考え方（A・B工区 共通）

● 共通の配慮事項

樹種の選定

- 樹種の選定に当たっては、**地域性のある樹種**を用いることを原則とする。

- 外来種・園芸種や移入種は極力用いない。**

- 各通りに特色を持たせるため、**通り毎の推奨樹種**を用いた沿道植栽づくりに配慮する。

→中高木は緑地延長に対し3～4mに一本、低木は面積の2/3以上を推奨樹種とする。
通り毎の推奨樹種については、次頁に示す。

【外来種の例】

・グリーンエメラルド等

【地域性のある樹種の例】

・ムラサキシキブ等

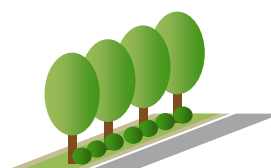
配植

- 様々な高さの樹木を植栽する。

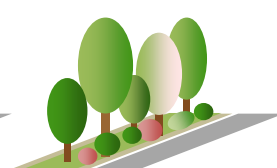
- 整形な刈り込みを行わず、出来るだけ**自然樹形**とする。（見通し確保のための剪定は必要。）

- 区画ごとに単一樹種とせず、**複数の樹種を混ぜて配植**する。

→中高木は敷地全体で3種類以上、低木は緑地延長1～2mに対し3種類以上とする。



・単一の樹種
・均一な高さ

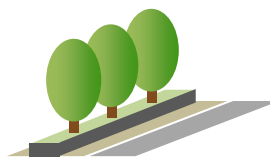


・複数の樹種
・様々な高さ

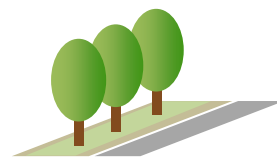
植栽帯縁部

- 原則として花壇や塀等の**立ち上がり**を設けない。

- やむをえなく設ける場合にも、高さを抑え、**自然素材**（自然石、レンガ等）を用いるなどして、人工的な印象を与えないよう配慮する。



・立ち上がり有り

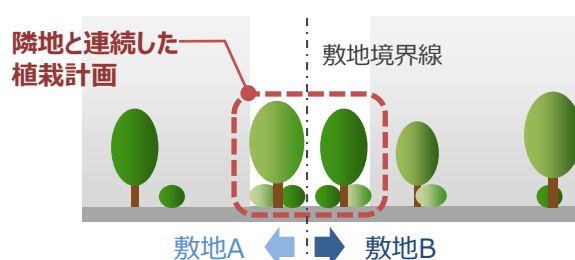


・立ち上がり無し

隣地との関係

- 沿道の緑の連続感が途切れないよう、樹種や植栽帯の配置など、隣地の植栽計画に配慮する。

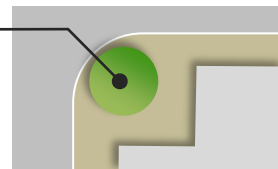
- 特に隣接部については、植栽地の厚みを取り、境界部の緑が隣地と連続するよう施設計画時から配慮する。



コーナー部

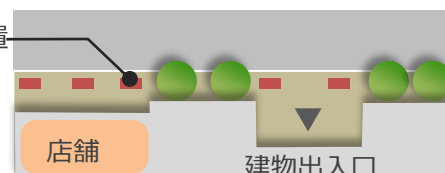
- コーナー部は比較的植栽帯の幅がとりやすいので、シンボルとなるような高木を配置する。

シンボルとなる高木の配置



植栽帯以外

- 店舗ファサードや出入口など、樹木の配置が難しい部分についても、プランターを設置するなど、プランターの設置緑の連続性に配慮した設えとする。



地域性のある樹種リスト

● 広葉樹

落葉高木

<u>(クルミ科)</u>	<u>(ニレ科)</u>	<u>(ミカン科)</u>
オニグルミ	ムクノキ	カラスザンショウ
サワグルミ	エゾエノキ	キハダ
	エノキ	
<u>(ヤナギ科)</u>	ケヤキ	<u>(カエデ科)</u>
ヤマナラシ	ハルニレ*	イロハモミジ
アカメヤナギ	オヒョウ*	コミネカエデ
タチヤナギ		イタヤカエデ
コゴメヤナギ	<u>(モクレン科)</u>	
	ホオノキ	<u>(トチノキ科)</u>
<u>(カバノキ科)</u>	コブシ	トチノキ
ハンノキ		
ヤマハンノキ	<u>(フサザクラ科)</u>	<u>(シナノキ科)</u>
ウダイカンバ	フサザクラ	シナノキ
ミズメ		
シラカンバ	<u>(カツラ科)</u>	<u>(ミズキ科)</u>
ヤシャブシ	カツラ	ミズキ
アサダ		
サワシバ	<u>(バラ科)</u>	<u>(ウコギ科)</u>
クマシデ	ヤマザクラ	ハリギリ
イヌシデ	ウワミズザクラ	
アカシデ	イヌザクラ	<u>(エゴノキ科)</u>
	オオヤマザクラ	ハクウンボク
	ヤマナシ*	オオバアサガラ
<u>(ブナ科)</u>		
ブナ*		
イヌブナ*	<u>(マメ科)</u>	<u>(モクセイ科)</u>
ミズナラ	ネムノキ	シオジ*
コナラ	イヌエンジュ	
クリ		<u>(ゴマノハグサ科)</u>
		キリ*

落葉中高木

<u>(カバノキ科)</u>	<u>(バラ科)</u>
オノオレカンバ*	ズミ
	アズキナシ
<u>(ツバキ科)</u>	ナナカマド
ナツツバキ	
	<u>(マメ科)</u>
<u>(トウダイグサ科)</u>	フジキ
アカメガシワ	
	<u>(エゴノキ科)</u>
<u>(ニガキ科)</u>	エゴノキ
ニガキ	
	<u>(モクセイ科)</u>
<u>(ウルシ科)</u>	アオダモ
ヌルデ	
	<u>(カエデ科)</u>
<u>(ミツバウツギ科)</u>	メグスリノキ
ゴンズイ	
	<u>(モチノキ科)</u>
<u>(ミズキ科)</u>	アオハダ
ヤマボウシ	
<u>(ウコギ科)</u>	
コシアブラ	
<u>(リウブ科)</u>	
リウブ	

※「埼玉県生物多様性の保全に配慮した緑化木選定基準」を元に作成
(灰色字*は上記基準上、自生・天然分布は山地内に限定されると注記されている樹種)
太字は市民活動団体のモニタリング調査により市野谷の森で確認されている樹種

地域性のある樹種リスト

● 広葉樹

落葉低木

<u>(ヤナギ科)</u>	<u>(ユキノシタ科)</u>	<u>(クロウメモドキ科)</u>	<u>(モクセイ科)</u>
ネコヤナギ	タマアジサイ	クマヤナギ	ハシドイ
カワヤナギ	コアジサイ		イボタノキ
	ノリウツギ	<u>(グミ科)</u>	
<u>(カバノキ科)</u>	マルバウツギ	ナツグミ	<u>(クマツヅラ科)</u>
ツノハシバミ	ウツギ		クサギ
	<u>(バラ科)</u>	<u>(キブシ科)</u>	ムラサキシキブ
<u>(クワ科)</u>	コゴメウツギ	キブシ	
ガジノキ	ヤマブキ		<u>(スイカズラ科)</u>
コウゾ	モミジイチゴ	<u>(ミズキ科)</u>	ニシキウツギ
	クマイチゴ	ハナイカダ	ガマズミ
<u>(ナス科)</u>	カマツカ		ニワトコ
クコ	クサボケ	<u>(ウコギ科)</u>	オオカメノキ
	ユキヤナギ	タラノキ	オトコヨウゾメ
<u>(クスノキ科)</u>		オカウコギ	コバノガマズミ
クロモジ	<u>(ミカン科)</u>	ヤマウコギ	ウグイスカグラ
アブラチャン	コクサギ		
ヤマコウバシ	サンショウ	<u>(ツツジ科)</u>	<u>(マメ科)</u>
ダンコウバイ	イヌザンショウ	ネジキ	キハギ
		ミツバツツジ	
<u>(メギ科)</u>	<u>(モチノキ科)</u>	サラサドウダン	
メギ	ウメモドキ	ヤマツツジ	
	コマユミ	レンゲツツジ	
<u>(マンサク科)</u>	ニシキギ		
マンサク	マユミ	<u>(ハイノキ科)</u>	
		サワフタギ	
	<u>(ミツバウツギ科)</u>		
	ミツバウツギ		

※「埼玉県生物多様性の保全に配慮した緑化木選定基準」を元に作成
(灰色字*は上記基準上、自生・天然分布は山地内に限定されると注記されている樹種)
太字は 市民活動団体のモニタリング調査により 市野谷の森で確認されている樹種

地域性のある樹種リスト

● 広葉樹

落葉つる性	落葉ササ類・ タケ類	常緑中高木	常緑つる性
(アケビ科)	(イネ科)	(クスノキ科)	(ニシキギ科)
アケビ	アズマネザサ	シロダモ	ツルマサキ
ミツバアケビ	メダケ		
	ミヤコザサ	(ツバキ科)	(グミ科)
(マタタビ科)	スズタケ	ヤブツバキ	ツルグミ
サルナシ			
マタタビ		(モクセイ科)	(ウコギ科)
		ヒイラギ	キツタ
(ユキノシタ科)		ネズミモチ	
イワガラミ			(キョウチクトウ科)
ツルアジサイ		(ツゲ科)	テイカカズラ
		ツゲ	
(バラ科)		常緑低木	(マツブサ科)
ノイバラ			サネカズラ
	常緑高木	(ミカン科)	
(マメ科)	(ブナ科)	ミヤマシキミ	
ヤマフジ	ツクバネガシ		
	アラカシ	(モチノキ科)	
(ニシキギ科)	ウラジロカシ	ソヨゴ	
ツルウメモドキ	シラカシ	イヌツゲ	
	スダジイ		
(ブドウ科)	アカガシ	(ミズキ科)	
ヤマブドウ		アオイ	
エビヅル			
ツタ	(クスノキ科)	(ツツジ科)	
	ヤブニッケイ	アセビ	
(スイカズラ科)			
スイカズラ		(ヤブコウジ科)	
		ヤブコウジ	

※「埼玉県生物多様性の保全に配慮した緑化木選定基準」を元に作成
 (灰色字*は上記基準上、自生・天然分布は山地内に限定されると注記されている樹種)
 太字は 市民活動団体のモニタリング調査により 市野谷の森で確認されている樹種

地域性のある樹種リスト

● 針葉樹

落葉高木	常緑高木	常緑中高木
<u>(マツ科)</u> カラマツ*	<u>(マツ科)</u> アカマツ モミ ゴヨウマツ* ウラジロモミ ツガ <u>(スギ科)</u> スギ <u>(コウヤマキ科)</u> コウヤマキ <u>(ヒノキ科)</u> ヒノキ サワラ アスナロ* ネズコ* <u>(イヌガヤ科)</u> イヌガヤ <u>(イチイ科)</u> カヤ	<u>(ヒノキ科)</u> ネズミサシ

※「埼玉県生物多様性の保全に配慮した緑化木選定基準」を元に作成
 (灰色字*は上記基準上、自生・天然分布は山地内に限定されると注記されている樹種)
太字は市民活動団体のモニタリング調査により市野谷の森で確認されている樹種

概要版では、まちなみづくり指針の概略のみを紹介しています。
 まちなみづくり指針の詳細内容をご覧になりたい方は下記までご連絡ください。
流山市役所都市整備部まちづくり推進課（電話：04-7150-6090）